

令和元年度 通学路危険箇所合同点検一覧表

資料3-1

No.	項番	危険箇所・要注意箇所の場所路線等	通学路の状況・危険の内容	要望内容(参考)	対策(案)	関係部署
1	今南1	下恵土字野林2987番地40付近 (今渡南小学校付近) 市道18号線	ゾーン30に指定されているが、速度超過する車が多い。自転車に乗った児童の交通事故も発生している。	減速を誘導するペイント又は物理的な施設の設置	・横断歩道前のカラー舗装	土木課
2	春里1	塩河字花立2003番地付近 (市道23号線交差点) 県道善師野多治見線	国道248号バイパスが整備され交通量が激増している中、当該交差点には信号機が未設置であり、半年に1回は事故が発生している。横断歩道も未整備の中、小学校の通学路になっており、非常に危険である。	交点西側県道の拡幅、信号機の設置	・外側線等の道路区画線の復旧 ・児童生徒への交通安全指導 ・交差点改良及び横断歩道設置(長期)	土木課 教育委員会 可児警察署 可茂土木事務所
3	春里2	谷迫間字海道田335番地3付近 (市道32号線交差点) 市道145号線	当該場所は、地域の上及び下からの中間辺りの位置になり、春里小学校に通学する児童の集合場所になっている。通学時間帯は交通量が非常に多く集合場所にかかわらず危険な状態です。	歩行者用防護柵または、ポストコーンの設置	・ポストコーンの設置	土木課
4	東明1	羽崎字西洞454-2付近 ～字八幡前1166-3付近 (羽崎二番地公民館付近 ～県道多治見八百津線) 市道19号線	主要地方道土岐可児線の交通量の増加に伴い、特に通勤通学時に市道19号線に入ってくる車も多く見受けられる。また、来年のNHK大河ドラマが始まると他県等地理に詳しくない車の通行も予測される。道幅も狭く、道路北側の白線も消えてしまっているため危険である。	道路北側の白線の引き直し及び路側部のカラー舗装	・外側線の復旧 ・路側部のカラー舗装	土木課
5	東明2	二野字井ノ口1824番地1付近 (二野橋北) 市道56号線	二野大森トンネルの開通により市道56号線の交通量が増加し、スピードを出す車も増加することが予想される。	速度抑制、通学児童の安全対策	・交差点部の歩行者用防護柵設置	土木課
6	旭1	大森字田中2227番地5付近 (田中橋西付近) 市道27・34号線	田中橋西交差点で信号待ちする場所に防護柵が無く危険である。	ガードパイプ等防護柵の設置	・交差点部の巻込み線設置 ・歩行者待機場所のカラー舗装 ・交差点改良(長期)	土木課
7	広見1	広見字渡辺731 ～字榊田789-2番地付近 (広見橋東付近) 主要地方道土岐可児線	道幅が狭いため登下校時、対向車が通過するたびに危険である。	登下校時の交通制限 通学路標識の設置	・注意喚起看板の設置 ・通学路標識の設置	可茂土木事務所 教育委員会
8	中部1	広見字田白2211番地8 (市道3145号線交差点付近) 市道62号線	姫治地区、大森地区、広見地区の学童が横断歩道を渡る際に、道路にはみ出して待機しており危険である。	道路横断者待機場所設置のための用地確保	・横断歩道位置の変更及び道路横断者待機場所の設置	可児警察署 土木課
9	西可1	若葉台8丁目90番地付近 (西可児中学校東) 市道8014・8032号線	駅へ抜ける道路であり、登下校の時間帯に車の交通量が多く危険である。	横断歩道の設置 団地内の30キロ規制 交差点四隅のカラー舗装	・外側線の設置 ・法定外表示(減速マーク・交差点注意)の設置 ・歩道設置(長期)	土木課